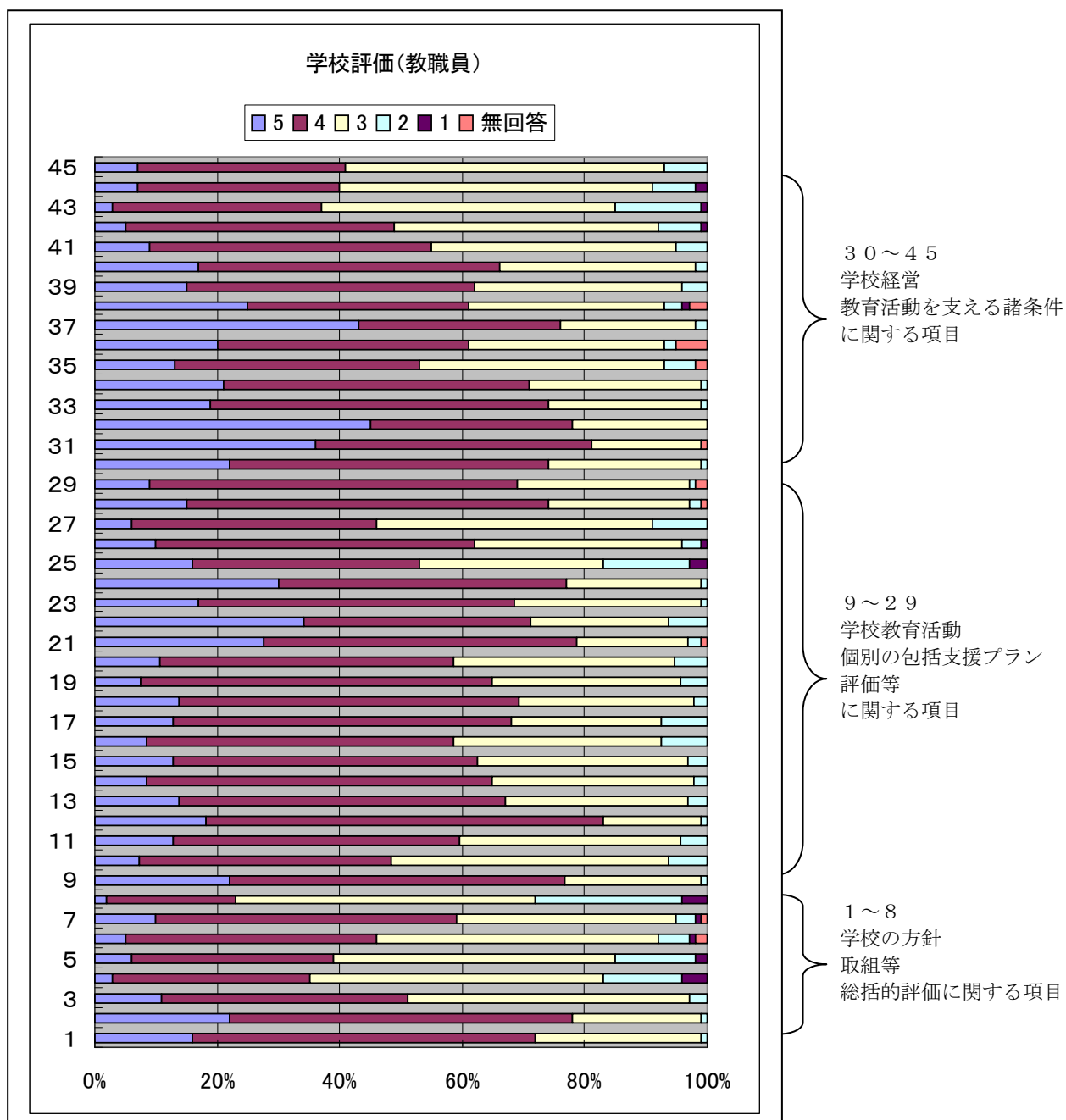
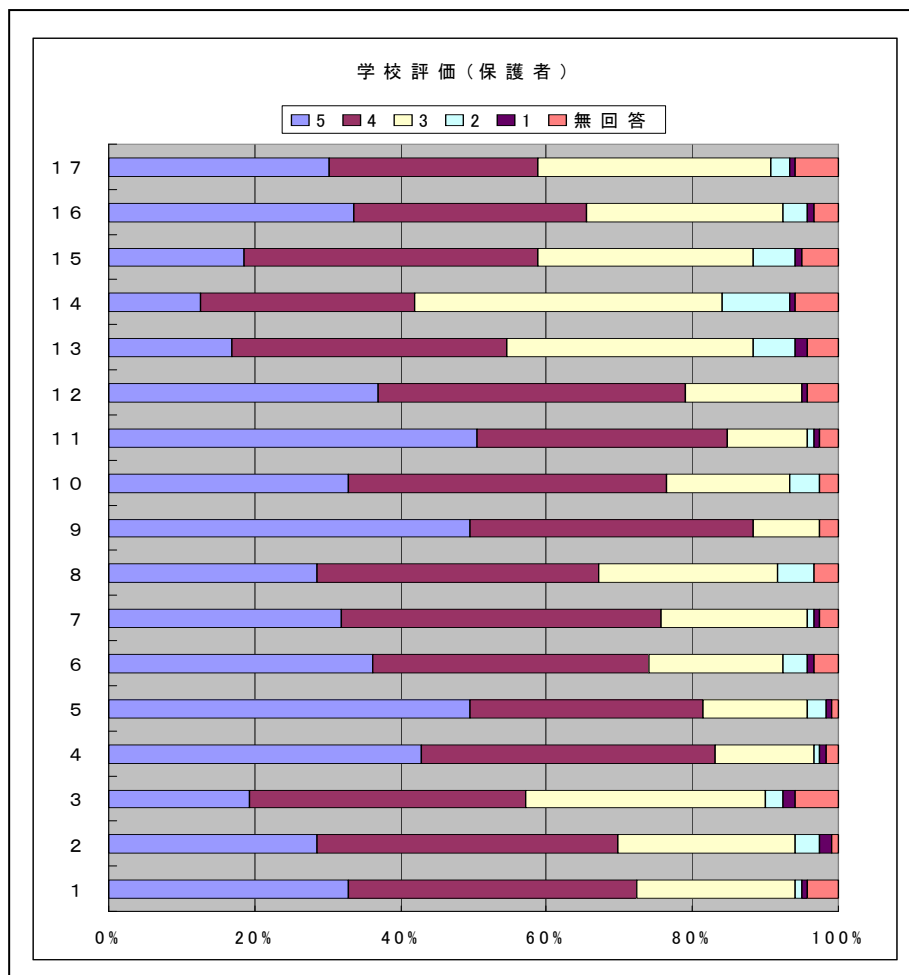


平成20年度 学校評価アンケート実施結果

『西総合支援学校に通学する児童生徒の教育内容と、地域との連携・協働の現状及び今後の改善点を、学校・保護者・地域が共有するとともに、「学校のあり様」について、教職員・児童生徒・保護者・地域・関係機関等が評価することにより、よりよい学校づくりをめざす。』ことを目的とし、本校教職員による自己評価（45項目）、保護者による評価（17項目）、児童生徒による評価（10項目）を、無記名によるアンケート形式で実施した。

1 学校評価アンケート結果



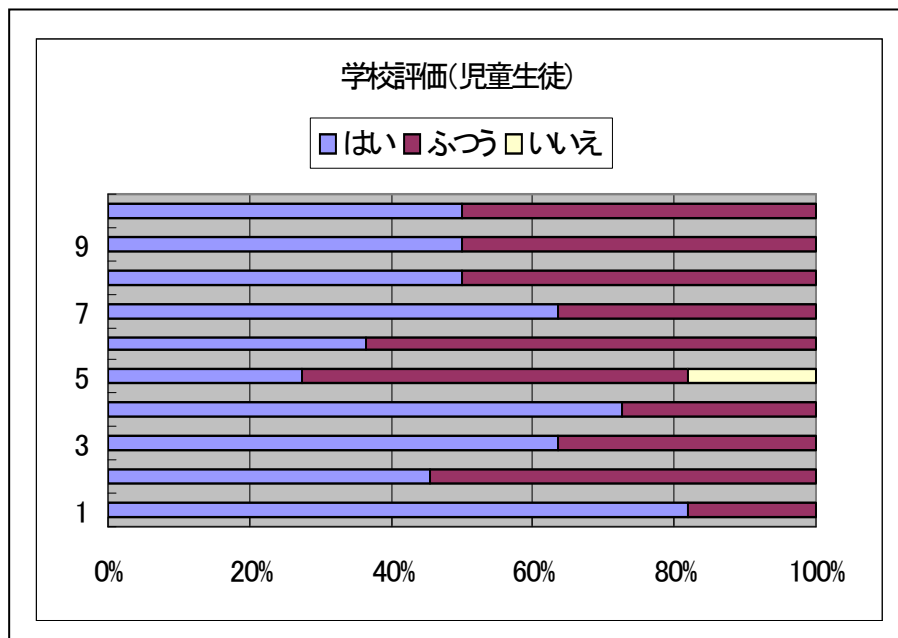


16～17
学校教育活動
個別の包括支援プラン
評価等
に関する項目

9～15
学校経営
教育活動を支える諸条件
に関する項目

4～8
学校教育活動
個別の包括支援プラン
評価等
に関する項目

1～3
学校の方針
取組等
総括的評価に関する項目



- 10 目標をもって、学習に取り組んでいますか
- 9 毎日の学習の予定は、わかりやすいですか
- 8 わからないことがあれば、先生に聞いていますか
- 7 先生は、わかりやすく、勉強を教えてくださいませんか
- 6 先生は困っていることなどを話しやすいですか
- 5 勉強はよくわかりますか
- 4 学校のきまりや約束を守っていますか
- 3 友達と仲良くし、友達に優しくしていますか
- 2 先生や友達にしっかりあいさつができていますか
- 1 学校生活は楽しいですか

学校評価アンケート結果の基準については、

- ◆ ①… 5（81%～100%）と 4（61%～80%）の合計が、70%以上の項目は、概ね達成
- ◆ ②… 2（21%～40%）と 1（0%～20%）及び無回答の合計が、10%以上の項目は、課題ありとした。

○ 教職員・保護者別

	教職員	保護者（回収率：70.8%）
平均値	3.7	4.1
概ね達成している項目	13/45 … 28.8%	9/17 … 52.9%
課題のある項目	5/45 … 11.1%	4/17 … 23.5%

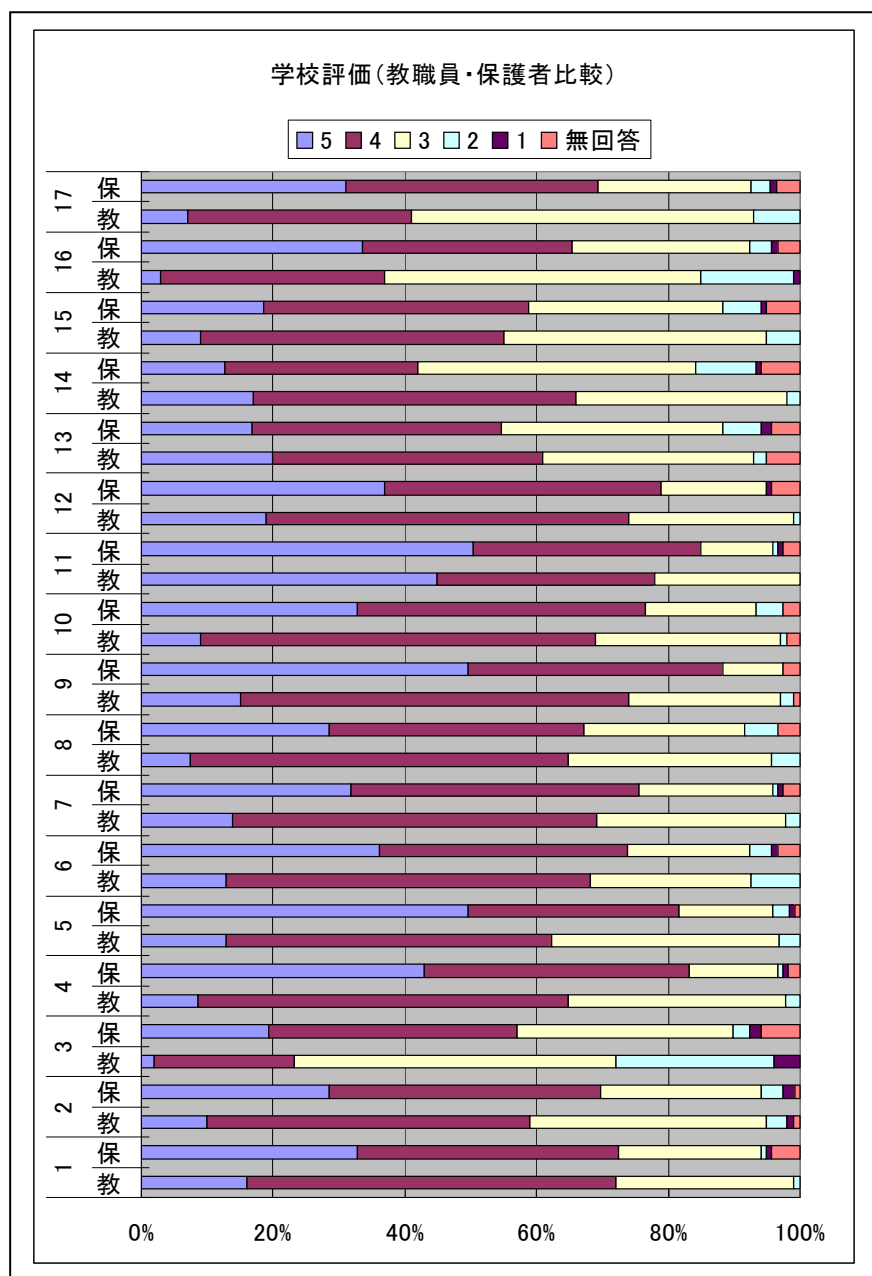
※ 教職員は（4・3）に 80%近くの評価が分布しているのに対し、保護者は（5・4）に 70%近くの評価が分布している。

※ （1・無回答）は、教職員に比べて保護者が多い。

○ 児童生徒

※ 児童生徒については、高等部生徒 11 名にアンケートを実施した。「勉強は、よくわかりますか」の項目に 2 名「いいえ」の生徒があった。自由記述には、実習や将来のことに対する積極的な意見が見られた。

2 教職員と保護者の比較



- 17 QOLの向上
- 16 児童生徒の変容
- 15 学校運営協議会の取組
- 14 関係機関とのネットワーク
- 13 移行支援の取組
- 12 環境整備・保守管理
- 11 学校預り金
- 10 施設・設備の清潔・安全
- 9 個人情報の管理
- 8 授業の指導及び支援
- 7 学習内容
- 6 授業実践
- 5 学習計画
- 4 長期目標・短期目標設定
- 3 PTA・地域活動への参加
- 2 情報発信
- 1 教育目標達成のための教育活動

○ 教職員・保護者比較

	教職員	保護者
5 + 4 が 70%以上の項目	1 / 17 (80%以上… 0)	9 / 17 (80%以上… 4)
5 + 4 が 50%以下の項目	3 / 17	1 / 17
2 + 1 + 無が 10%以上の項目	2 / 17 (20%以上… 1)	4 / 17 (20%以上… 0)

※ 全体的に、教職員よりも保護者の方が高い評価を行っている。一方で、保護者の方が、課題ありとしている項目が多い。

※ 13（移行支援），14（関係機関とのネットワーク）の項目について，5 + 4 の割合が，教職員よりも保護者が低い。

3 分析と考察

○ 課題のある項目

3	（教職員は）P T A活動や地域の活動に積極的に関わっていますか。					
<教>	5… 2.0	4… 21.2	3… 49.0	2… 24.0	1… 4.0	無… 0.0
<保>	5… 19.3	4… 37.8	3… 32.8	2… 2.5	1… 1.7	無… 5.9

13	学部，ワーク，進路指導及び関係機関との連絡・連携が適切に行われ，移行支援（就学前～在学中～卒業後）を核とした指導及び支援が行われ，成果が見られますか。					
<教>	5… 20.0	4… 41.0	3… 32.0	2… 2.0	1… 1.0	無… 5.0
<保>	5… 16.8	4… 37.8	3… 33.6	2… 5.9	1… 1.7	無… 4.2

14	地域での生活，医療，福祉，進路等の関係機関とのネットワークが整備され，システムとして活用できていますか。					
<教>	5… 17.0	4… 49.0	3… 32.0	2… 2.0	1… 0.0	無… 0.0
<保>	5… 12.6	4… 29.4	3… 42.0	2… 9.2	1… 0.8	無… 5.9

15	学校運営協議会の取組が理解され，地域資源の活用や施設開放，地域行事への参加等，「双方向の援助 ふれ合い・支え合い」の取組がなされていますか。					
<教>	5… 9.0	4… 46.0	3… 40.0	2… 5.0	1… 0.0	無… 0.0
<保>	5… 18.5	4… 40.3	3… 29.4	2… 5.9	1… 0.8	無… 5.0

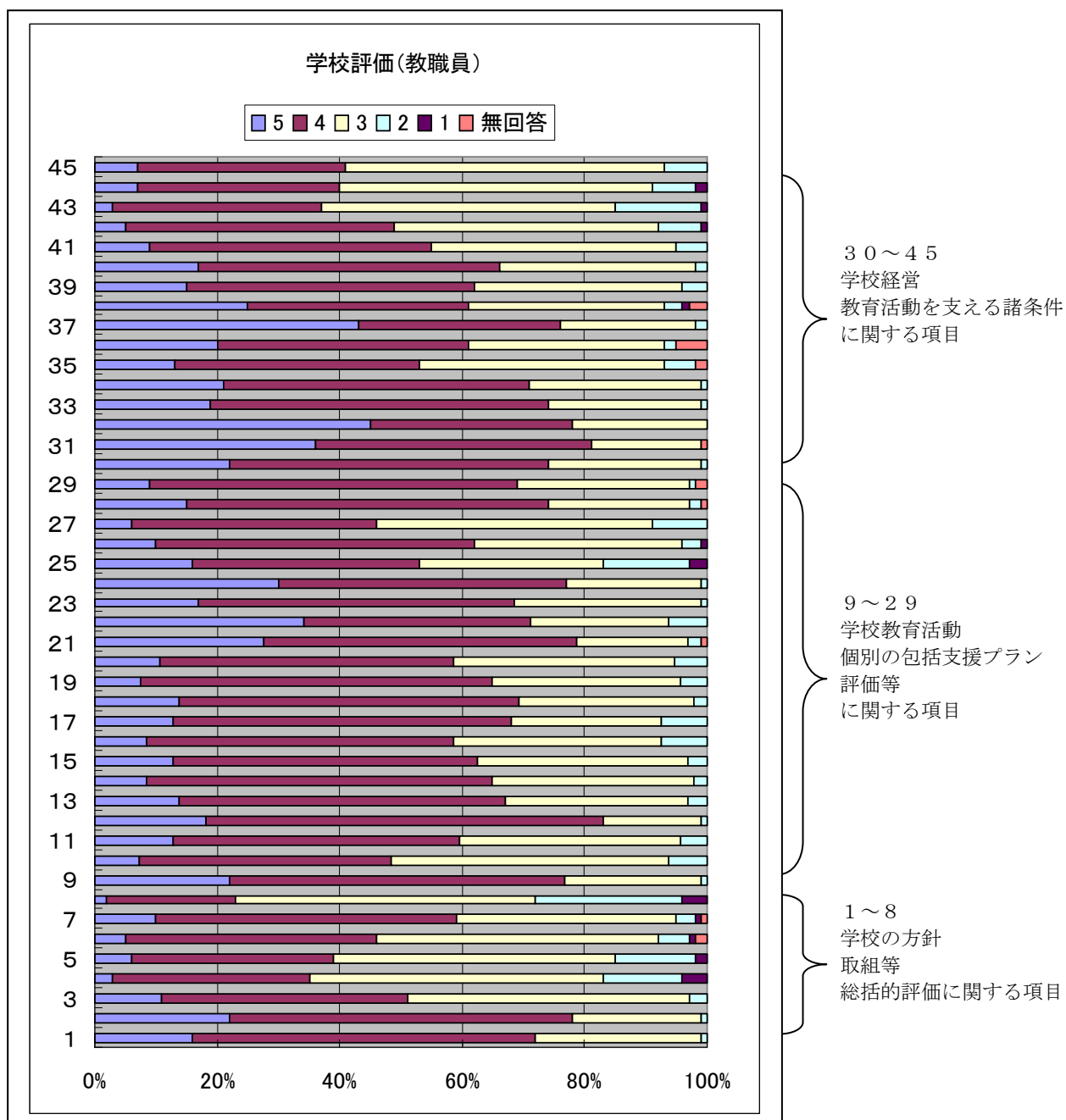
※ 課題のある項目に共通しているのは，取組内容が見えにくいことが考えられる。特に，移行支援や関係機関とのネットワークについては，いろいろな取組を行っているが，点でつながっていることが多く，面としての広がりที่ไม่十分なために，システムとして活用されているかというとな難しい面が見られる。

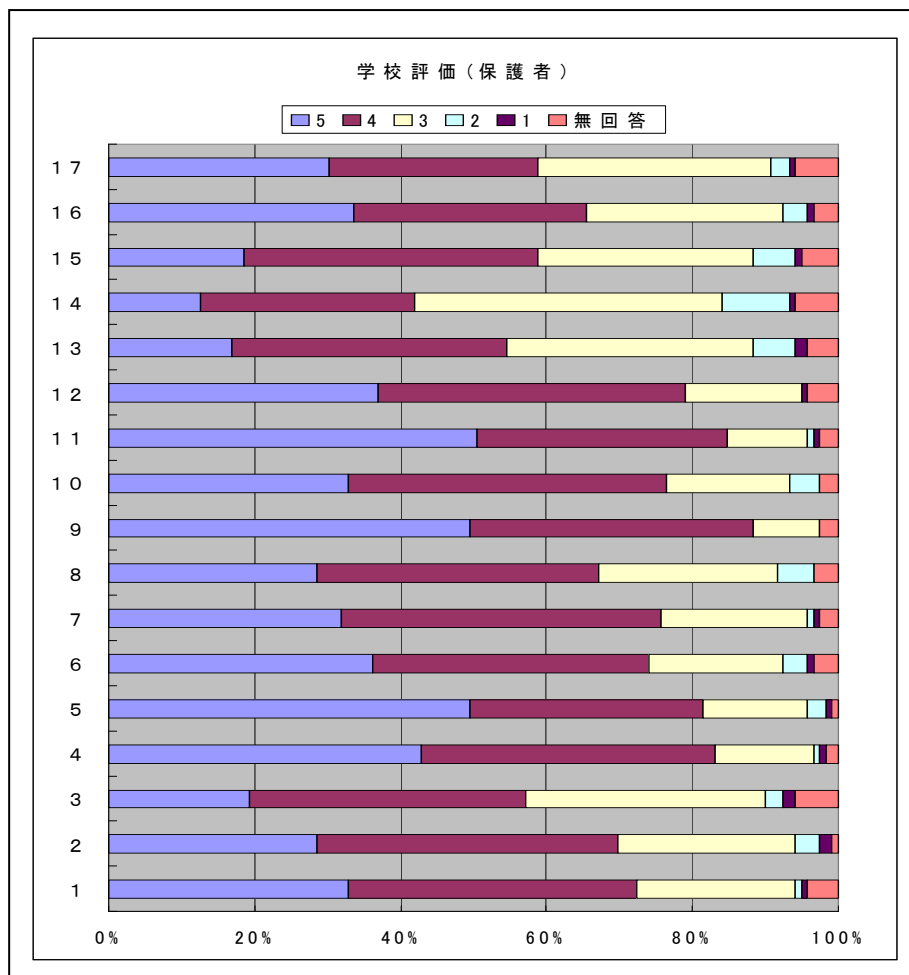
※ 学校運営協議会の取組については，さらに情報発信を積極的に行う必要がある。

平成20年度 学校評価アンケート実施結果

『西総合支援学校に通学する児童生徒の教育内容と、地域との連携・協働の現状及び今後の改善点を、学校・保護者・地域が共有するとともに、「学校のあり様」について、教職員・児童生徒・保護者・地域・関係機関等が評価することにより、よりよい学校づくりをめざす。』ことを目的とし、本校教職員による自己評価（45項目）、保護者による評価（17項目）、児童生徒による評価（10項目）を、無記名によるアンケート形式で実施した。

1 学校評価アンケート結果





16～17

学校教育活動
個別の包括支援プラン
評価等
に関する項目

9～15

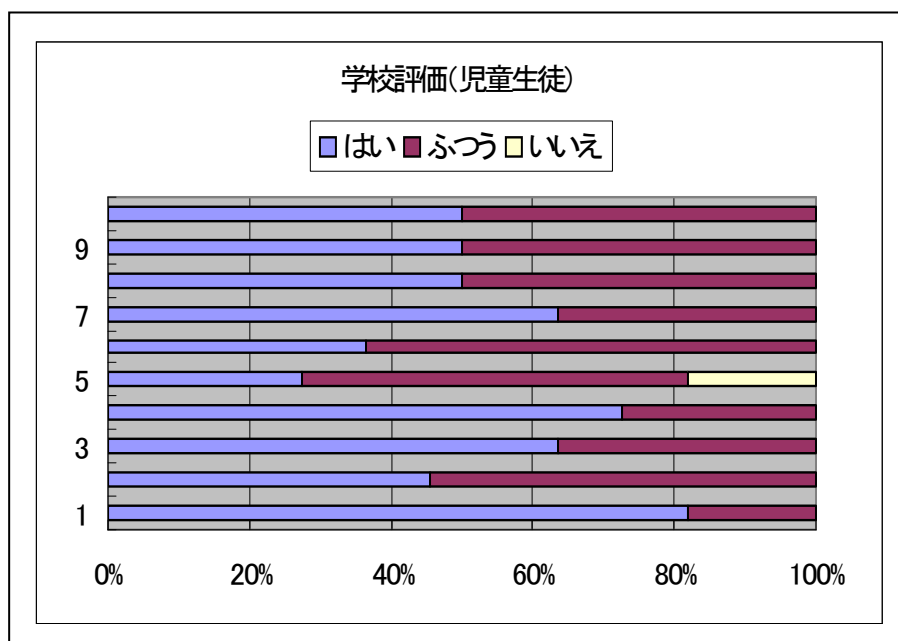
学校経営
教育活動を支える諸条件
に関する項目

4～8

学校教育活動
個別の包括支援プラン
評価等
に関する項目

1～3

学校の方針
取組等
総括的評価に関する項目



- 10 目標をもって、学習に取り組んでいますか
- 9 毎日の学習の予定は、わかりやすいですか
- 8 わからないことがあれば、先生に聞いていますか
- 7 先生は、わかりやすく、勉強を教えてくださいませんか
- 6 先生は困っていることなどを話しやすいですか
- 5 勉強はよくわかりますか
- 4 学校のきまりや約束を守っていますか
- 3 友達と仲良くし、友達に優しくしていますか
- 2 先生や友達にしっかりあいさつができていますか
- 1 学校生活は楽しいですか

学校評価アンケート結果の基準については、

- ◆ ①… 5（81%～100%）と 4（61%～80%）の合計が、70%以上の項目は、概ね達成
- ◆ ②… 2（21%～40%）と 1（0%～20%）及び無回答の合計が、10%以上の項目は、課題ありとした。

○ 教職員・保護者別

	教職員	保護者（回収率：70.8%）
平均値	3.7	4.1
概ね達成している項目	13/45 … 28.8%	9/17 … 52.9%
課題のある項目	5/45 … 11.1%	4/17 … 23.5%

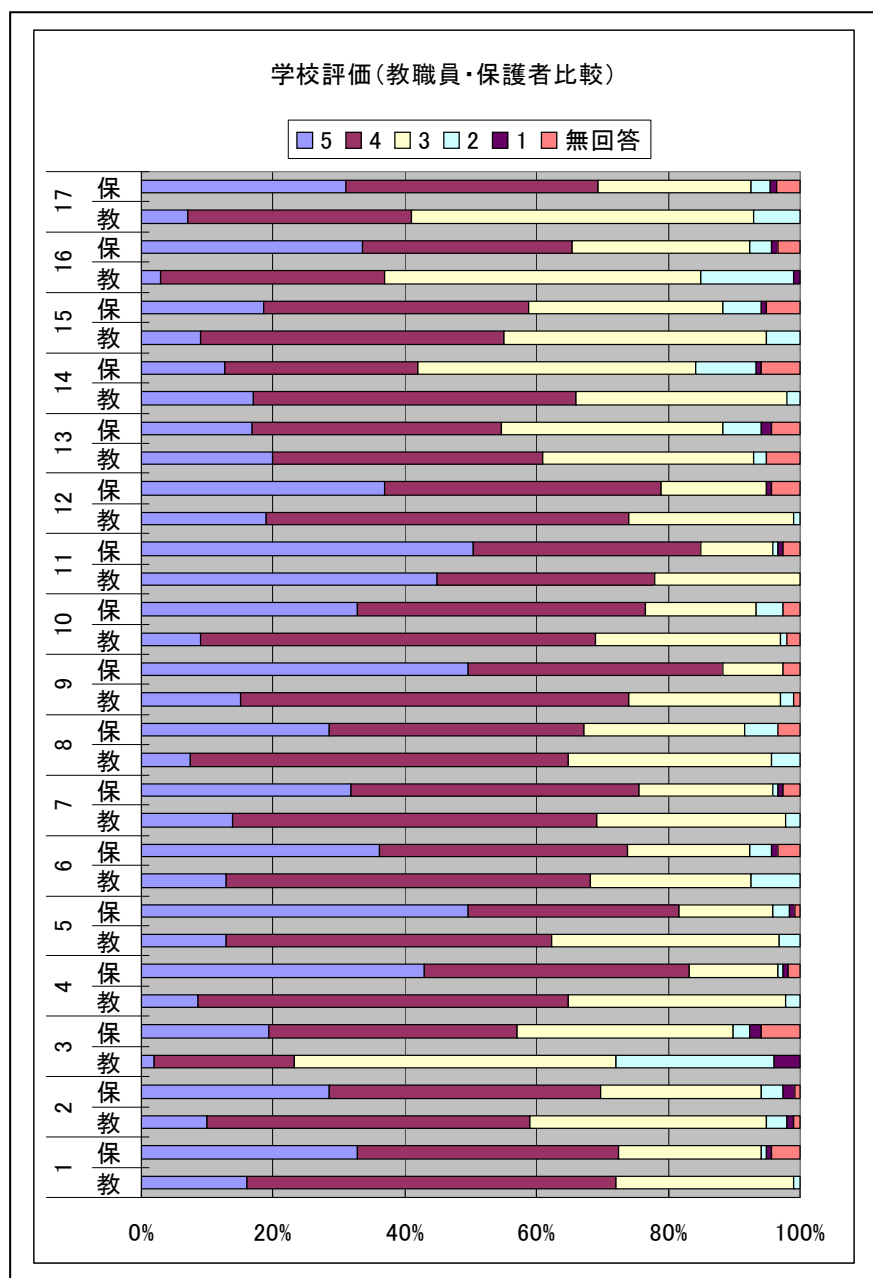
※ 教職員は（4・3）に 80%近くの評価が分布しているのに対し、保護者は（5・4）に 70%近くの評価が分布している。

※ （1・無回答）は、教職員に比べて保護者が多い。

○ 児童生徒

※ 児童生徒については、高等部生徒 11 名にアンケートを実施した。「勉強は、よくわかりますか」の項目に 2 名「いいえ」の生徒があった。自由記述には、実習や将来のことに対する積極的な意見が見られた。

2 教職員と保護者の比較



- 17 QOLの向上
- 16 児童生徒の変容
- 15 学校運営協議会の取組
- 14 関係機関とのネットワーク
- 13 移行支援の取組
- 12 環境整備・保守管理
- 11 学校預り金
- 10 施設・設備の清潔・安全
- 9 個人情報の管理
- 8 授業の指導及び支援
- 7 学習内容
- 6 授業実践
- 5 学習計画
- 4 長期目標・短期目標設定
- 3 PTA・地域活動への参加
- 2 情報発信
- 1 教育目標達成のための教育活動

○ 教職員・保護者比較

	教職員	保護者
5 + 4 が 70%以上の項目	1 / 17 (80%以上… 0)	9 / 17 (80%以上… 4)
5 + 4 が 50%以下の項目	3 / 17	1 / 17
2 + 1 + 無が 10%以上の項目	2 / 17 (20%以上… 1)	4 / 17 (20%以上… 0)

※ 全体的に、教職員よりも保護者の方が高い評価を行っている。一方で、保護者の方が、課題ありとしている項目が多い。

※ 13（移行支援），14（関係機関とのネットワーク）の項目について，5 + 4 の割合が，教職員よりも保護者が低い。

3 分析と考察

○ 課題のある項目

3	（教職員は）P T A活動や地域の活動に積極的に関わっていますか。					
<教>	5… 2.0	4… 21.2	3… 49.0	2… 24.0	1… 4.0	無… 0.0
<保>	5… 19.3	4… 37.8	3… 32.8	2… 2.5	1… 1.7	無… 5.9

13	学部，ワーク，進路指導及び関係機関との連絡・連携が適切に行われ，移行支援（就学前～在学中～卒業後）を核とした指導及び支援が行われ，成果が見られますか。					
<教>	5… 20.0	4… 41.0	3… 32.0	2… 2.0	1… 1.0	無… 5.0
<保>	5… 16.8	4… 37.8	3… 33.6	2… 5.9	1… 1.7	無… 4.2

14	地域での生活，医療，福祉，進路等の関係機関とのネットワークが整備され，システムとして活用できていますか。					
<教>	5… 17.0	4… 49.0	3… 32.0	2… 2.0	1… 0.0	無… 0.0
<保>	5… 12.6	4… 29.4	3… 42.0	2… 9.2	1… 0.8	無… 5.9

15	学校運営協議会の取組が理解され，地域資源の活用や施設開放，地域行事への参加等，「双方向の援助 ふれ合い・支え合い」の取組がなされていますか。					
<教>	5… 9.0	4… 46.0	3… 40.0	2… 5.0	1… 0.0	無… 0.0
<保>	5… 18.5	4… 40.3	3… 29.4	2… 5.9	1… 0.8	無… 5.0

※ 課題のある項目に共通しているのは，取組内容が見えにくいことが考えられる。特に，移行支援や関係機関とのネットワークについては，いろいろな取組を行っているが，点でつながっていることが多く，面としての広がりที่ไม่十分なために，システムとして活用されているかというとな難しい面が見られる。

※ 学校運営協議会の取組については，さらに情報発信を積極的に行う必要がある。